

社協だより



社協では地域の居場所づくりを応援しています！

「えんがわ」

～ご縁がつながるみんなの居場所～



子どもや子育て中のお母さん、
一人暮らしの年配の方などが読書や
おしゃべりを通じて、ほっと落ち着く
居場所「えんがわ」を提供されている
川村さんにお話を伺いました。



開催のきっかけ

子育て中、自宅で赤ちゃんとだけ向き合うことに息苦しさを感じた時がありました。誰かとおしゃべりをしたり、悩みを聞いてもらえるような場所があればとの思いで、令和元年11月10日に「えんがわ」をオープンされました。子どもも大人も絵本や本に触れ合う機会ができればという願いもありました。

縁のつながりでできた「えんがわ」

「えんがわ」は、ご両親がマイホームを新築する際、特に縁側にこだわって施工されたことから名付けられました。「えんがわ」の発足当時から現在に至るまでの小さなご縁をご紹介します。

えんがわ玄関ホールの古い箆笥のリメイクがきっかけで、教え子と30年ぶりに再会されました。教え子はデザイナーとして「えんがわ」のリフォームに携わり「ご縁がつながるみんなの居場所」というキャッチコピーやロゴマークが生まれました。

「えんがわ」でのオリジナル珈琲は、「消しゴムはんこ」講座で講師夫人と焙煎家の女性が20年ぶりに再会され、これが縁でオリジナル珈琲が完成しました。

ご縁のある富田林の拓共同作業所さんのお菓子と広

陵町の作業所つくし野会のさをり織りの雑貨を販売し、微力ながら協力されています。

開催されてから印象に残っていること

南花台在住の川村さんの友人が「えんがわ」に訪れた時、先客のご夫婦が旧知の方で30余年ぶりの再会でした。途切れていた縁が再びつながった場面に遭遇したことが印象に残っているとのことでした。

今後、子どもたちと年配の方の交流の場、一杯の珈琲と本で息抜きができる場など、多くの方の縁がつながる場所になることを願われています。

「えんがわ」再開後は、講師を招いて「大人の心に刺さる絵本」講座を開設される予定ですので、ぜひ立ち寄ってみてください。

開催日：日・月・火 午後1時～4時

場所：河内長野市南花台4-2-9 ※駐車場無し

問い合わせ：川村望（かわむらのぞみ）

☎070-4368-9314

※6月14日曜日～席数を減らして再開しています。
その他お問い合わせください。

あなたの子育てを 応援します！

広がっています 地域の子育て支援！

昨今、児童虐待や子どもの事故など痛ましい事件が後を絶ちません。そのような事件に対して、地域の子育て支援の必要性について問われています。河内長野市子ども・子育て総合センターあいつくの吉富センター長に、地域の子育ての重要性についてお話を伺いました。

すべての世代において、地域とのつながりが希薄になり、いわゆる「ご近所さん」と声を掛け合うようなライフスタイルが少なくなっている近年、子育ても家族だけの「子育て」が「孤育て」（孤立した育児を表す造語）になっていないかと懸念されています。

子育ては、親になり初めて経験することが多く、ときには予測できないことが起こるので、母親は自分自身を責めたり、追い詰められたりします。自分から助けを求められる人は良いのですが、SNSの普及などにより直接人と話す経験が少なくなっている現代では、「助けて」の声を発することも難しいのが現状です。そんな時、やっぱり「ご近所さん」の存在が大切になってきます。

近くにいるからこそ何か気になることや少しの異変に気付いたときは、追い詰めるのではなく、そっと寄り添う「見守り役」として声をかけてもらえる。これだけで母親は、ホッと、息抜きをして「助けてもらっていいんだ」「一人じゃないんだ」と思



事例1 福祉委員会での子育て支援 (川上小学校区：清見台にて)

福祉委員会では、地域で子育てサロンを行っています。福祉委員が子どもの見守りや遊び相手をしてれています。手遊びや絵本の読み聞かせ、クリスマス会、ハロウィンなど季節のイベントも色々行われています。また、子ども・子育て総合センターあいつくと協働で行っているサロンも多いので、保育士に相談することもできます。



河内長野市では、各地域で子育てサロンを行っています。今回は、一部ではありますが、ご紹介させていただきます。
問い合わせ：河内長野市社会福祉協議会
☎0721-65-0133

うことができ、少し気楽に子育てに向き合えるようになります。ほんの少しの声掛けによるつながりから「脱・孤育て」に、そして、虐待の未然防止の役割を果たすことになるのです。

また、子育て支援は、家族支援そして地域づくりとも切り離せない関係にあります。「子育て」だけを支援しているつもりでも、それは結局、地域住民が子育て家庭を中心に話し合う機会となり、地域の力が集まって町が活性化することにつながっていきます。「こんな支援があったらいいのにな…」が、形となり実現するのが地域の力です。

私たちは、身近な地域で親も子も健やかに育つことを願い、今後も地域の支援者の方々とともに成長していきたいと思っています。



あいつくセンター長
吉富裕子氏

事例2

住民主体で始まった子育て支援

(南花台：コノミヤキッズステーションにて)

南花台には、様々な子どもや子育てを支える活動があります。今回は、キッズステーションを紹介します。

地域に子どもの笑顔を増やしたい、子育てしているお母さんの力になりたいなど、何かできないかと考えていました。そんな折、コノミヤの協力のもと、南花台店の空き店舗を利用できることになり、色々な方とつながって、協力してくれる人を探しました。「そんなことなら手伝うよ」と地域の方々や南花台まちづくり会の協力もいただき、令和元年11月16日に「ふれあいテラス」を始めるにあたり、おもちゃや絵本など、みなさんからいただきました。回を重ねるごとに、利用される方も増えて



ています。毎週月・木曜日午前10時～午後4時迄開催しています。ママの仲間作りの場となり、もっと笑顔が増えて子育てしやすい町になればと考えています。

ひとりで
悩まないで

子育ての情報、相談は“あいつく”へ

子育てをしながら「こんなこと聞いていいのかな?」「誰に相談すればいいの?」など迷ったことはありませんか。

河内長野市にお住いの妊娠中の方および子育て中の保護者は、どなたでも相談できます。また電話以外に来所、訪問による相談もできます。まずは、お問い合わせを。

今年度よりあいつくのスタッフを、地域担当制にして利用者支援の充実を図ります。私たちが地域の担当となります。よろしくお願いします。

加賀田中、美加の台中、南花台中、
長野中、長野西中地区担当



山本 佐知子



新屋 晶子



大川 富美子



白澤 明子



石丸 貴子



甲斐 千恵

千代田中、東中地区担当

問い合わせ：☎ 0721-50-4664 【水曜日を除く毎日（年末年始を除く）午前10時～午後5時30分】

河内長野市でも おもちゃ病院 開設プロジェクトが始動！



おもちゃ病院は、おもちゃを修理することで、子どもたちに、ものを大切にする心を育てることを目的として全国各地で活動しています。「河内長野市にもおもちゃ病院を！」という思いで、平成31年3月にあいつくと協働でプロジェクトを立ち上げたところ、多くの方にご参加いただきました。

最近のおもちゃは複雑で、おもちゃのどの部分が故障しているのか（調子が悪いのか）分からず、みんなで話し合いながら修理し、おもちゃ修理の技術を日々向上させています。（研修医からドクターになるため、日々オペの技術を磨いています。）

開設までもう少しお時間をいただきますが、開設した際には皆様のご来院をお待ちしています。

※現在、おもちゃを治すボランティア（ドクター）は募集していません。

施設連絡会は、社会福祉施設と社協が連携し、様々な地域課題に取り組み、地域福祉の向上や地域貢献活動に取り組むことを目的としています。

今回は社協が福祉教育の推進として取り組んでいる福祉学習プログラム（車いす体験）を主に小学校5年生を対象に「みなと寮」と「生登福祉ケアセンター」の職員と福祉学習サポーター（ボランティア）と協働で実施しましたので紹介します。

「車いす」の体験の流れは、その目的と施設での体験談をお話して、「車いす」の操作方法や、動かすときの注意点などの説明後、実際に体育館などで決められたコースを介助の仕方と一緒に体験していただき、最後にみんなで振り返りを行いました。

みなと寮

11月5日に川上小学校と12月5日に加賀田小学校で行いました。川上小学校は、計43人の児童が、加賀田小学校は計25人の児童が参加しました。

福祉学習を実施された感想

地面との距離が近いと思った以上にスピードが感じられ怖く感じました。女子の生徒さんからは段差や坂道などは重くて押しにく

かったという声があり、我々の普段の業務では感じられなかったことに気づくことができ良い機会でした。また、福祉学習車いす体験授業に参加させていただくことで、車いすについて一から振り返り日頃の支援を大事に、より利用者さんに寄り添った力添えができるように感じました。

これから福祉学習の取り組みを考えている施設へのアドバイス
反省として、取り組むときは小学生のみなさんにも分かりやすい



介助体験の様子

言葉で説明したり、体格差を考慮したコースを設定したりと工夫していかなければいけないと思いました。



生登福祉会

11月25日に楠小学校と12月12日に天見小学校で行いました。天見



車いすの操作方法を説明している様子

小学校は計9人の児童が、楠小学校は計26人の児童が参加しました。

福祉学習を実施された感想

福祉とはよく耳にしますが「意味は」と問われると難しくなります。普段なにげなく生活していますが、地域には車椅子の方もいれば杖を使用している方も多くいます。全ての方々が“ふ”だんの“く”らしを“し”あわせに出来るよう手を取り合うことが重要であり、参加していただいた児童の

皆さんには福祉学習車いす体験を通じて、福祉に対して身近に感じ、人と人のつながりの大切を改めて感じて頂けたのではないかと思います。

これから福祉学習の取り組みを考えている施設へのアドバイス

地域に開かれた施設づくりが大切ですが、まずはコミュニティーで行われる地域活動に積極的に参加して色々な体験等を通し身近に感じて頂けることが大切だと思います。

笑顔 出会い やさしい介護 あなたの生活を豊かにする

ホーム・ガイドヘルパースタッフ募集中!

- 資格 ①登録ホームヘルパー(介護福祉士、ホームヘルパー2級、初任者研修修了者)
②登録ガイドヘルパー(視覚・全身性・知的障がい者のガイドヘルパー養成研修修了者)
- 時間 5:00～23:00 ※曜日、時間にご相談に応じます。
- 給与 時給1,200円～1,880円 ※時間帯などによる。
- 応募 まずは、お気軽にお電話ください。



社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会 〒586-0041 河内長野市大師町 26-1 TEL. 0721-64-9000 FAX. 0721-64-0222

障がい者福祉センター「あかみね」からのお知らせ



フラワーアレンジメント教室の作品

河内長野市立障がい者福祉センター「あかみね」

教室・クラブ参加者募集

あかみねとは 河内長野市内に居住する障がい者に対して、教室やクラブ、講習会などの活動をはじめ、地域社会との自由な交流を通じ障がい者の福祉の向上を図ることを目的としています。

- 開館・利用時間：午前9時～午後5時
- 休館日：日曜日・祝日・年末年始（12月28日～1月4日まで）
- 対象者：市内在住の身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者

《フラワーアレンジメント教室》

日程：毎月第1水曜日
時間：午前10時～11時30分
参加費：1,000円（材料費）
持ち物：花器、持ち帰り用袋

《大正琴教室》

日程：毎月第2・4月曜日
時間：午前10時～正午
参加費・持ち物：なし

《陶芸教室》

日程①：第1～第4金曜日
時間：午後1時～3時
日程②：第1～第4土曜日
時間：午前10時～正午
持ち物：エプロン、タオル
※ボランティア募集中



新規利用者募集中

～送迎付き 生活介護・通所介護～

本年4月より65歳以上で要介護1～5の方を対象とした指定通所介護サービスを開始しました。サービス提供時間中は通所介護のプログラムだけでなく、同施設内のデイサービスが開催するクラブ・教室へ参加することも可能です。

- ◆営業日：月・火・水・木・金
(ただし、国民の祝日、12月28日から1月4日までを除く)
 - ◆営業時間：午前9時～午後5時30分
 - ◆サービス提供時間：午前10時～午後4時
 - ◆利用定員：生活介護と通所介護を合わせて20名（医療的ケアの必要な方を3名含む）
 - ◆実施地域：河内長野市全域
 - ◆対象者：河内長野在住の下記の方
 - ・生活介護…身体・知的・精神障がい者、難病等の方
 - ・通所介護…65歳以上で要介護1～5の方
- ※利用に興味をお持ちの方は下記までご相談ください。



問い合わせ

障がい者福祉センター「あかみね」 〒586-0094 河内長野市小山田町379-16
☎ 56-1590 FAX 56-1592 土・日・祝日・年末年始は除く ▶午前9時～午後5時30分



平成31(令和元)年度事業報告・決算

平成31(令和元)年度の事業報告および決算は、5月14日の監事監査を経て、理事会(6月2日)、定時評議員会(6月23日)において承認されましたので、その概要を報告します。

概要

▶地域福祉活動の推進

- ・「かわちながのつながり・支えあい推進プラン」の推進
- ・次期地域福祉活動計画の策定に向け、行政と連携した地域ワークショップの実施(全小学校区)
- ・市内15地区(校区)福祉委員会を基盤とした小地域ネットワーク活動の展開と支援(個別援助活動、グループ援助活動など)
- ・高齢者生活支援体制整備事業の推進(生活支援の仕組みづくり、居場所、移動支援をテーマに協議体の開催、生活支援コーディネーターによる支え合いの活動支援)
- ・ボランティア活動の支援
- ・福祉教育の推進
- ・共同募金運動の実施
- ・福祉団体への支援

▶在宅生活の支援

- ・身近な福祉の相談窓口として市内の6拠点に地域相談支援員(CSW)を配置し、個別相談対応や、地域の関係団体等と連携した地域の福祉課題解決の支援
- ・社会的孤立や孤独死などを防ぐ支え合いの仕組みづくりや、当事者組織の支援
- ・日常生活自立支援事業(あんしんサポートサービス)の実施
- ・生活福祉資金の貸付け
- ・新型コロナウイルス感染症による特別貸付窓口の開設および受付
- ・生活困窮者家計改善事業の実施
- ・車いすおよびスロープ付き自動車の貸出し
- ・心配ごと相談所の開設

▶社会福祉法人の連携による地域貢献事業への取り組み

- ・市内38の社会福祉法人施設および社協で組織する「社会福祉施設連絡会」

の運営と加入施設による地域貢献活動の実施(移動支援、福祉学習支援、介護教室の実施、福祉避難所運営対策、地域福祉活動者への施設の開放と連携など)

▶「市町diary」を活用した多目的事業の展開

▶在宅福祉事業

- ・利用者の在宅生活向上のための必要な介護サービスの提供
- ・居宅介護支援、訪問介護、介護予防日常生活支援総合事業の実施
- ・障がい者総合支援事業において新たに支援区分認定調査の実施
- ・訪問型サービスA事業の実施

▶指定管理事業

- ・福祉センター「錦深苑」の管理運営、生

きがい、居場所づくり

- ・障がい者福祉センター「あかみね」の管理運営、デイサービス事業、生活介護事業の展開

▶障がい者生活支援事業「ピアセンターかわちなが」の運営

▶障がい者就労支援事業

- ・就労継続支援B型事業所の運営
- ▶災害ボランティアセンターの運営
- ・台風19号による被災者に対する支援活動の実施と資機材の整備

▶法人運営事業の実施

- ・理事会評議員会、委員会の開催
- ・監事による内部定期監査の実施
- ・組織構成会員の推進
- ・賛助会員、善意銀行、福祉基金の募集等、自主財源の確保
- ・職員スキルアップおよび人権研修の実施

平成31(令和元)年度 資金収支計算書

(単位：円)

収 入		支 出	
区 分	決 算 額	区 分	決 算 額
会費収入	2,925,000	人件費支出	447,123,911
寄付金収入	1,698,332	事業費支出	37,047,977
経常経費補助金収入	90,913,400	事務費支出	77,691,530
受託金収入	210,305,369	就労支援事業支出	8,272,181
事業収入	1,401,611	助成金支出	13,640,680
介護保険事業収入	64,730,679	負担金支出	3,867,038
就労支援事業収入	8,792,175	流動資産評価損等による資金減少額	22,950
障害福祉サービス等事業収入	191,656,446	積立資産支出	4,000,100
受取利息配当金収入	1,775,350	その他の活動による支出	11,386,140
その他の収入	7,727,269		
その他の活動による収入	22,586,180		
前期末支払資金残高	269,906,015	当期末支払資金残高	271,365,319
収入合計	874,417,826	支出合計	874,417,826

貸借対照表

令和2年3月31日現在(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産		流動負債	
現金預金	249,925,070	事業未払金	16,947,810
事業未収金	38,433,059	預り金	45,000
商品・製品	75,108		
固定資産		固定負債	
基本財産		退職給付引当金	173,937,800
土地	7,888,173		
定期預金	1,300,000	負債の部合計	190,930,610
その他の固定資産		純 資 産 の 部	
土地	20,263,190	基本金	1,300,000
建物	494,369	福祉基金	110,901,000
構築物	289,107	国庫補助金等特別積立金	5
車輜運搬具	2,294,086	その他の積立金	133,483,789
器具及び備品	267,163	次期繰越活動増減差額	265,586,300
ソフトウェア	4,860	(うち当期活動増減差額)	7,535,707
退職手当積立基金預け金	136,228,730		
福祉基金積立資産	110,901,000		
人件費積立資産	23,885,534		
備品等購入積立資産	12,928,146		
運営基金積立資産	2,180,372		
介護支援推進事業積立資産	83,768,246		
施設整備等事業積立資産	10,721,491		
その他の固定資産	354,000	純資産の部合計	511,271,094
資産の部合計	702,201,704	負債及び純資産の部合計	702,201,704

令和2年度 事業計画・予算

社協は、社会福祉法において、「地域福祉の推進を図ることを目的とする

団体」として位置付けられ、住民参加の地域福祉の推進を支える中核的な存

令和2年度 資金収支予算

(単位：円)

収 入		支 出	
区 分	予 算 額	区 分	予 算 額
会費収入	2,951,000	人件費支出	440,066,000
寄付金収入	1,760,000	事業費支出	40,143,000
経常経費補助金収入	92,573,000	事務費支出	80,543,000
受託金収入	213,380,000	就労支援事業支出	8,719,000
事業収入	1,176,000	助成金支出	13,717,000
介護保険事業収入	66,737,000	負担金支出	3,800,000
就労支援事業収入	8,214,000	固定資産取得支出	11,000,000
障害福祉サービス等事業収入	196,178,000	その他の施設整備等による支出	0
受取利息配当金収入	1,792,000	その他の活動による収入	18,467,000
その他の収入	405,000	予備費支出	29,499,000
施設整備等補助金収入	500,000		
前期末支払資金残高	221,118,000	当期末支払資金残高	160,830,000
収入合計	806,784,000	支出合計	806,784,000

重点目標

- 1 地域支援事業の展開や子供から高齢者や障がい者など地域の誰もが気軽に集うことができ、災害支援活動の拠点となりうる総合的な福祉活動拠点の確保がイズミヤ河内長野店4階フロアにできたことから、事務所の移転を行い機構改革を実施し、地域共生社会の実現を踏まえた組織機構体制を構築します。
- 2 行政との協働により策定した『かわちながの つながり・支えあい推進プラン』の最終年度にあたり、計画の進捗状況を踏まえ、昨年度各小学校区で実施したワークショップで出された意見を基に、次期計画の策定と今後の

- 地域福祉活動の目標を設定します。
- 3 生活課題を抱える地域住民に対して、「生活困窮者自立支援法」に基づく家計改善支援事業や日常生活自立支援事業、CSW、障がい者支援事業などの専門職が連携し、本人や世帯の属性にかかわらず受け止められる相談支援とともに、民生委員・児童委員や福祉委員など、地域における支援者と連携し、要支援者が住み慣れた地域でより良い環境で暮らせるよう、包括的な支援体制を強化します。
 - 4 高齢者生活支援体制整備事業では、地域課題の解決を目指す社会資源の構築を目的に構成される協議体(か

在として大きな役割を担っています。近年、既存の制度では解決に至らないさまざまな生活課題が絡み合った複合的な問題が増加しており、こうした人びとを地域の力で支える「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが重要になっています。

特に、今年度は行政と社協が一体となって、令和3年度から5年間の地域福祉計画・地域福祉活動計画を昨年度実施した地域ワークショップを基に策定し、身近な地域で見守り支えあえる仕組みづくりに取り組みます。

地域に暮らす高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が安全・安心に暮らせるまちをめざし、今年度は、次の重点目標を掲げ、さまざまな取り組みを展開してまいります。

わちながの地域ささえあい推進会議)を、福祉委員会や民生委員児童委員協議会などの地域福祉活動支援団体や社会福祉施設連絡会をはじめ、福祉の領域だけでなく商業・サービス業・工業・農林産業など多種多様な人・分野・世代を超えて、社会全体の中で「人」「モノ」「かね」そして「思い」が循環し、相互に支える支えられる関係を、地域づくりの基礎として推進します。

5 福祉センター「キタバ錦深苑」および障がい者福祉センター「あかみね」の利用者が安心して利用できるよう施設運営を行います。

社協を支えていただけませんか!

社協の組織構成会員募集

本会は広く住民に開かれた組織として、現在、市内の78の団体・機関・事業者組織構成会員に加入していただいています。

会員は評議員の選出団体になるなど、様々な立場から社協の運営、事業に参画していただくことができます。

【組織構成会費】5,000円(10年額)

社協の賛助会員募集

社協の趣旨および目的に賛同し、その事業に参加しながら財政面で社協を支える会員です。

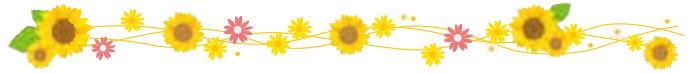
【個人】 特別賛助会員 会費 1,000円

【法人・団体】 法人賛助会員 会費 5,000円

いずれも
10年額

※本会への寄付金については、税額控除制度の適用を受けることができます。

制度の詳細など問い合わせは本会まで連絡ください。



サイコロジカル・ファーストエイド(PFA)講演会

支援者が被災者や犯罪の被害を受けた方などに関わる時、どのように声をかけたり、何に気をつけて接したらよいのでしょうか。PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）は、そのような疑問に答えるための心理的応急処置です。PFAは、危機的な出来事に見舞われて、苦しんでいる人の心理的回復を支えるための、人道的、支持的、かつ実際の役に立つ様々な支援をまとめたもので、心理的（サイコロジカル）という言葉を使っていますが、社会的生活をささえるための支援も含まれています。また、災害弱者や支援者自身のケアもできるように工夫されています。今回はWHO（世界保健機関）が中心となって開発したPFAの基本的な内容をご講演いただきます。

日時 令和2年7月17日（金）午後1時30分～3時30分
（開場：午後0時30分）

場所 市民交流センターキックス 4階イベントホール

講師 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 行動医学研究部
災害等支援研究室 大沼麻実氏

定員 150名（市民対象）

申込 令和2年6月9日（火）～
※先着順 電話にて申込み
（平日の午前9時から午後5時30分）



女性電話相談(さざんかの会)

☎ 65-0707

日時 毎週木曜日 午前11時～午後2時30分
（年末年始、祝日は休み）

秘密厳守・相談無料・ナンバーディスプレイ（発信電話番号表示）はしていません。

★ドリンクを寄贈していただきました！

セレッソ大阪からジュースや炭酸飲料を寄贈していただきました。地域の施設などで活用させていただきます。



★消毒用(次亜塩素酸水)スプレーを寄贈していただきました！

河内長野だんじり4地区連絡会（三日市地区・千代田地区・長野地区・高向地区）から消毒用（次亜塩素酸水）スプレー500本を寄贈していただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために有効に活用させていただきます。



☆善意銀行

○現金 計39,800円

一般預託 ▼歌謡同好会山崎正子

指定預託 ▼市立障がい者福祉センター「あかみね」
へ《千代田台なごみ会・南海ウイングバス金岡株式会社》

○物品 一般預託 ▼山中祥次・赤峯ピュアグループ・株式会社ほけんのARM・匿名3件

指定預託 ▼市立障がい者福祉センター「あかみね」
へ《千代田台なごみ会》▼子ども食堂へ《河内長野ライオンズクラブ・大阪南農業協同組合連盟富田林市「岩手県大槌町奇跡の復興米」栽培委員会・匿名1件》



令和元年12月～2年4月分
（順不同・敬称略）

☆一般寄付 計1,418,332円
河内長野ガス株式会社・日本キリスト教団金剛教会・家庭連合富田林教会・森尾友宏・匿名8件

主役はキミだ！ 大阪暁光高等学校



看護科・看護専攻科
普通科 教育探究コース
幼児教育コース
進学総合コース

〒586-8577
大阪府河内長野市楠町西1090
TEL. 0721-53-5281(代表)



社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

〒586-0041 河内長野市大師町26-1
TEL. 0721-65-0133(代表) FAX. 0721-65-0143

次号は
令和2年10月1日発行予定

「協賛広告」募集！
詳細は社協へ

● ご意見・ご感想をお寄せください ●

- 社協ホームページ
- 社協ブログ
- 社協ツイッター
- 在宅福祉課
- ピアセンターかわちながの
- 障がい者福祉センター「あかみね」
- 福祉センター「錦溪苑」

<http://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/>
<http://ksyakyou.blog90.fc2.com/>
<https://twitter.com/ksyakyou>
<http://kawachinaganoshishakyo.or.jp/zaitaku/>
<http://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/peer/>
<http://www.pure.ne.jp/~akamine/>
<http://business4.plala.or.jp/kinkeien/>



この広報誌の発行には赤い羽根共同募金助成金の一部を活用させていただいています。